第51期（2022年度）事業報告

2022年4月1日～2023年3月31日

公益財団法人
資生堂子ども財団

事業概要

全国の児童相談所における児童虐待相談対応件数は増加の一途を辿り、子どもたちが直面する現実は厳しさを増しています。資生堂子ども財団は、「すべての子どもが笑顔にあふれ、自分らしく輝く社会を創る」ために活動しています。この目的を達成するために、「子どもへの支援」「子どもを育む職員への支援」「情報発信・共有」の事業に取り組んでいます。

活動一覧

2022年度は、以下の内容で実施しました。

子どもへの支援

1．資生堂子ども財団奨学金

児童福祉施設や里親のもとから自立し、大学・短期大学・専門学校に進学している奨学生16名に対し、使途の制限を設けず定額50万円（4月・10月は10万円、それ以外の月は3万円）を給付しました。奨学金以外の支援として、化粧品や食品と共に簡単なお役立ち情報を記載したメッセージを贈る「ぎんざ通信」を2度送付したほか、4回の交流会を実施し、奨学生同士の絆を深める機会を創出しました。

＜実施した交流会＞
新入生歓迎会・クリスマス交流会・設立50周年記念 特別交流会・活動報告＆卒業お祝い交流会

2． 自立支援セミナー

児童養護施設や里親のもとで暮らす子どもたちが、自立してからも地域社会で安心・安定した生活をおくるための生活スキル習得や、コミュニケーションスキル向上のための研修を行っています。
2022年度は、下記内容で実施しました。スターターズセミナーは1 回目はオンライン、 2 回目は新型コロナウイルス感染拡大に伴う行動制限が解除されたため 4 年ぶりにリアルで開催しました。同様に、社会への巣立ちフェスティバルもリアルで開催することができました。

○ 自立支援「スターターズセミナー」

開催時期	1回目 2022年10月/11月　2回目 1月
開催内容	自立生活に必要なコミュニケーションや「身だしなみ講座」の提供等のセミナーを開催し、のべ132名が参加
開催地域	愛知県、岐阜県・滋賀県（合同開催）、茨城県　計3地域
研修形態	1回目 オンライン　2回目 リアル

○ 自立支援「社会への巣立ちフェスティバル」

開催時期	2023年3月5日(日)
開催内容	社会へ巣立つ後押しと円滑な自立支援のため「身だしなみ講座」等のセミナーを開催し、のべ145名が参加
研修形態	リアル

○ 自立支援 「未来発見ワークショップ」

岐阜県の児童養護施設で暮らす高校1・2年生合わせて14名を対象に、自分に向いている職業を発見するためのワークショップを開催しました。

子どもを育む職員への支援

1．資生堂児童福祉海外研修

資生堂児童福祉海外研修は1972年の開始以来、児童福祉業界の中核人材を約700名輩出しており、児童福祉領域におけるリーダーの育成や業界全体としての専門知識の底上げに寄与しています。2022年度はオーストラリアに渡航し研修を実施しました。

開催時期	2022年11月21日（月）～26日（土）
訪 問 国	オーストラリア
研修形態	渡航
研 修 団	10名（団長：1名、特別講師：1名、団員：8名）

2． 情報誌「世界の児童と母性」

情報誌「世界の児童と母性」は、児童福祉に関する研究発表の場の提供や児童福祉の現場の課題解決に繋げるための情報提供を目的に発行。1975年の創刊以来、児童福祉分野の有識者や経験豊富な実務者に参画いただき、主に施設で働く方々への有益な情報を提供してきました。2022年度は下記の内容で発行しました。なお、92号の発行を以て休刊になります。

号数	題名	発行時期
91号	「18歳成人の社会に向けて－大人への入 り口をどう支えるか」	2022年4月
92号	「『子どものウェルビーイング』を育む社会を目指して」	2022年10月

3．個人・団体に対する助成

社会的養護下で暮らす子どもたちを支援する団体の中から、当財団の目指す方向性が一致する団体の活動へ助成を行っています。2022年度も特定非営利活動法人NPO STARSや全国児童家庭支援センター協議会が主催する研修会等に助成を行いました。

○ **子どものしごとフェスティバル in 東京**（NPO STARS）
○ **家庭養育機能支援子育てワークショップ研修会**（日本キリスト教児童福祉連盟）
○ **全国児童家庭支援センター協議会実務者研修**（全国児童家庭支援センター協議会）

情報発信・共有

・児童虐待防止に向けたセミナー・イベントへの助成

核家族化や地域交流の希薄化が進む中、地域の子育て家庭をサポートする児童家庭支援センターの活動に賛同し、児童家庭支援センターが主催する子育てセミナーやオレンジリボンキャンペーンに助成しています。 2022年度は11センターに助成を行いました。

50周年記念事業

設立50周年を機に法人名称を「資生堂社会福祉事業財団」から「資生堂子ども財団」に変更したことやこれまでの歴史、これからの活動のビジョン、ミッションなどをより多くの資生堂グループ社内外関係者に周知させることを目的にさまざまな団体や企業と協働して、記念事業を実施しました。

- 情報誌「世界の児童と母性」50 周年記念号（92号）の発行
- 奨学生特別交流会の開催
- 児童家庭支援センターとのコラボレーション企画の実施
- ホームページリニューアル
- 50周年記念動画制作